

- アイサワ工業(株)大阪支店
- 青木あすなろ建設(株)大阪本店
- あおみ建設(株)大阪支店
- (株)浅川組
- (株)浅沼組
- (株)新井組
- (株)安藤・間大阪支店
- 岩田地崎建設(株)大阪支店
- 大木建設(株)大阪支店
- (株)大林組大阪本店
- 大林道路(株)大阪支店
- (株)大本組大阪支店
- (株)奥村組西日本支社 関西支店
- 奥村組土木興業(株)
- オリエンタル白石(株)大阪支店
- 鹿島建設(株)関西支店
- 株木建設(株)大阪支店
- 北野建設(株)大阪支店
- (株)クボタ建設大阪支社
- (株)熊谷組関西支店
- 広成建設(株)大阪支店
- (株)鴻池組
- 五洋建設(株)大阪支店
- 佐藤工業(株)大阪支店
- 清水建設(株)関西支店
- ショーボンド建設(株)近畿圏支社
- 西武建設(株)関西支店
- (株)銭高組
- 大木建設(株)大阪本店
- 大成建設(株)関西支店
- 大成ロテック(株)関西支社
- 大鉄工業(株)
- 大日本土木(株)西日本支社
- 大豊建設(株)大阪支店
- 高松建設(株)
- (株)竹中工務店
- (株)竹中土木大阪本店
- 鉄建建設(株)大阪支店
- 東亜建設工業(株)大阪支店
- 東急建設(株)関西支店
- 東洋建設(株)大阪支店
- 戸田建設(株)大阪支店
- 飛鳥建設(株)大阪支店
- 奈良建設(株)大阪支店
- 南海辰村建設(株)
- 西松建設(株)西日本支社
- 日特建設(株)大阪支店
- (株)NIPPO関西支店
- 日本国土開発(株)大阪支店
- (株)ノバック
- (株)長谷工コーポレーション関西
- (株)ハンシン建設
- (株)ピーエス三菱大阪支店
- (株)久本組
- 深田サルベージ建設(株)大阪支社
- (株)福田組大阪支店
- (株)藤木工務店
- (株)フジタ西日本支社 大阪支店
- (株)不動テトラ大阪支店
- (株)本間組関西支店
- 前田建設工業(株)関西支店
- 松井建設(株)大阪支店
- (株)松村組大阪本店
- 丸磯建設(株)関西支店
- 三井住友建設(株)大阪支店
- みらい建設工業(株)大阪支店
- 村本建設(株)
- 名工建設(株)大阪支店
- (株)森組
- (株)森本組大阪支店
- 矢作建設工業(株)大阪支店
- (株)吉田組
- 寄神建設(株)関西支店
- ライト工業(株)西日本支社
- りんかい日産建設(株)大阪支店
- 若築建設(株)大阪支店

editor's voice
2023.October

編集後記

3年以上にわたって猛威をふるった新型コロナウイルスも、感染症法上の分類が見直され、スポーツの世界には久々に「歓声」が戻るなど、私たちの生活にもようやく明るさが戻ってきました。

日本建設業連合会関西支部の広報誌「しびる」は、1984年の創刊以来、今年で40年の記念号を迎え、ページ数を大幅に増やし編集に取り組みました。全体テーマは「Xformationのチカラ」。建設業にも押し寄せているデジタル変革(DX)の波について、特別企画で、紹介しています。

「巻頭対談」では、建設DXの第一人者である立命館大学教授の建山和由先生をお招きし、就業人口が減少していく建設業が変わるべき姿について、フリーアナウンサーの毛利聡子さんを聞き手とし、具体的に判りやすくお話しいただきました。また「DX建設最先端」として、関西の2現場における最新の取り組みなどを紹介、「スペシャル座談会」では、建設会社で様々な業務に携わる6名が集い、10年前から現在までの建設業の変化、さらには10年後のあり方について、語り合っていました。

例年の企画である「レポート・最前線」では、阪神高速道路14号松原線の高架橋更新工事を採り上げ、直下の一般道にほとんど交通規制をかけず施工する前代未聞の工事をレポートし、また「しびるWalker」では「冒険!「水」と「エネルギー」と題して淡路島を探訪、島が昔から抱える水不足などの課題解決にフォーカスしています。

2025年大阪・関西万博まで1年半、いよいよ建設工事も本格化します。我々建設業がこの大イベントの成功に向け、無事に、大きな役割が果たせることを心から願っています。

最後になりますが、本誌の取材に快くご協力いただきました関係各位のご厚意に、心より感謝申し上げます。

「しびる」について、あなたのご意見、ご感想をお聞かせください。

〒540-0031

大阪市中央区北浜東1-30 大阪建設会館内

(一社)日本建設業連合会 関西支部 **ご意見・ご感想係**

送り先

●今号の表紙

明石海峡大橋 (2023年8月撮影)

明石海峡大橋は神戸市と淡路島を結ぶ全長3911mの架橋として、開通後すでに25年が経過する。この明石海峡大橋には2本の送水管が通っており、本州から淡路島へ水道が供給されている。これが、水不足に悩む淡路島の歴史の解決に一役を買うことにも繋がっている。表紙写真は、本土より水を迎え入れる淡路島の夢の実現をダイナミックに表現した。

※しびるの既刊号については、こちらをご覧ください。→



『社会資本整備の重要性に関するシンポジウム』を開催! (日建連 関西支部主催)



北岡支部長

押味土木本部長



見坂氏



東川氏



関氏

9月7日、エルおおさか(大阪府立労働センター)で、社会資本整備の重要性に関するシンポジウムが開かれ、約170名が参加した。このシンポジウムは関西支部が運営を担った。社会資本(インフラ)整備が果たす役割に加え、防災や減災、国土強靱化を進める必要性について幅広く共通認識を持ってもらおうと、日建連各支部で開かれている。日建連関西支部の北岡支部長の挨拶に続き、3名のパネラーが登場。それぞれの立場から関西における新たなインフラ整備計画や老朽化対策などについて中長期的な視点で語っていただいた。質疑応答も交え約2時間半に及ぶシンポジウムは、日建連・押味土木本部長の挨拶で盛況のうちに閉会した。発表テーマは下記の通り。

●国土交通行政の最近の話題

近畿地方整備局長 見坂(けんざか)茂範氏

●大阪・関西万国博覧会について

公益社団法人2025年日本万国博覧会協会
副事務総長 東川(とがわ)直正氏

●新たな治水と水力発電に向けて ～ダム新時代～

公益財団法人河川財団 理事長 関克己氏
一般社団法人日本プロジェクト産業協議会(JAPIC)
国土・未来プロジェクト研究会

発表のポイント

未来に希望ある関西のインフラ整備や万博を契機に賑わいづくりが必要(見坂氏)

近畿地方整備局長の見坂茂範氏は、「予算」「国土形成計画」「関西の将来像」の3つのテーマについて大局的な知見から意見を述べた。昔のように公共投資への予算増が見込めない中、量よりも質を目指す時代に向かっていくと説明。一方で、将来に希望を持てる関西のインフラ整備の重要性について、関西は京奈和道をはじめ道路のミッシングリンクが多く、交通アクセスを良くすればインバウンドも増える。阪神高速神戸線の渋滞などを例に関西の成長に欠かせない道路整備の必要性を語った。また、万博を契機に淀川舟運を活かした船着場の整備や、御堂筋の観光や賑わいに繋げるアイデアも披露。健康や医療分野など、関西で進んでいる産業を支援するためにも道路や河川などインフラ整備が大事と述べた。

『万博の意義や来場アドバイス等をわかりやすく説明』(東川氏)

2025年日本万国博覧会協会 副事務総長の東川直正氏は、鉄道やバスなどの交通や物流、危機管理を担当。異なる文化を持つ150カ国が参加する中で多様性を許容することが万博の意義であることを強調。混雑が予想される後半よりも前半に来るのがおすすめ、荷物は少なめで、来場はバスと地下鉄で、といった来場者へのアドバイスをユーモアも交え語った。

『ダムの高度運用や備えの重要性を力説』(関氏)

河川財団理事長の関克己氏は、気候変動による水害や渇水が常態となる中、カーボンニュートラルの実現は待たないと説き、昔に比べ国土交通省でもダムに関わる人が減少する中で今こそ治水が重要なことを強調。どこがどれくらい危ないかを知ってもらうことが大事と述べた。激化する気候変動への対応として、ダムの高度運用ははじめ『ダム新時代』が担う備えの重要性も力説した。